

令和 2 年度 事業報告

1. 法人をめぐる状況と事業概要

喫緊の課題である職員確保については、予算時想定以上の職員増が図れ、純増延べ人数が 11 名（常勤換算数 10 名）であり、入社 of 延べ人数が 25 名、退社の延べ人数が 14 名であった。

尚、入社 25 名の内、有料人材紹介が 7 名で高額な経費（紹介手数料約 5,067 千円を広報費として計上）がかかった。一方、大変ありがたいことに年度事業計画にも挙げていた職員紹介制度による入社数も 7 名であった。

上記入社者とは別に、前年度から手掛けていた外国人（ベトナム人）技能実習生 4 名が令和 3 年 2 月 12 日付にて入社している。

（従来型特養 2 名、ユニット型特養 2 名に配属）

次に新型コロナウイルス感染についてであるが、昨年 9 月に職員 1 名の発症者が出たが、令和 2 年 3 月 5 日より熱発(37℃)及び体調不良がある場合は即時出勤停止命令措置をとっており、幸いに利用者および他の職員への感染は防げた。

2. 業務の達成状況

恒久的な実運営上の適正職員数不足（人員配置基準は遵守している）が続くなか、その職員態勢でここ数年の間、入居者・利用者の安全・安心ケアの処遇確保のため、止むを得ず入居者・利用者数の受入調整をしてきた。その結果、利用率および収入の大幅な減を招いた。今期はこのことを踏まえ、また新型コロナ感染予防対策も含め、職員には体力的・精神的負担が増すことへの理解と協力を得て、これまでの実運営上による受入調整を見直し、制度上の人員配置基準に沿った利用者受入を出来る限り行った。

その令和 2 年度の利用率（前年）は、従来型特養 96.3(93.7)%、ショートステイ 72.6(64.7)%、デイサービス 95.1(78.3)%、グループホーム 97.1(90.5)%、ユニット型特養 93.2(73.8)%であり、全事業所前年を上回りほぼ予算どおりの介護保険収入であり、改めて全職員へ感謝申し上げる。ただ下半期より、新型コロナウイルス感染の影響で在宅系サービス（ショートステイ・デイサービス・訪問介護）の利用控えがうかがえる。

支出（経費）においては、本体が開所 20 年を経過し、機械設備をはじめ各種什器の故障・劣化が相次ぎ、支出を抑制することが非常に難しくなっている。